

事務事業名		道路愛護事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	公共維持G	課長名	西川 徹	
	施策名	(12)生活道路の整備		担当者名	藤原 敦	電話番号	0854-40-1063	
	目的	対 象	A)市民(道路利用者) B)生活道路(市道)	意 図	市内を安全に移動できる。			
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理		予算科目	会計 014002	大 事 業 名	道路施設管理事業	
目的	対 象	道路利用者	意 図	安全に移動できるように道路を維持管理し、情報を発信する。			中 事 業 名	道路愛護事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
27年度までは、保険契約を除いた業務を各総合センターにおいて実施していたが、28年度以降は建設部が業務を引き継ぎ実施している。 ・各自治会へ作業依頼文の配布、実施計画の取りまとめ。 ・自治会との草刈委託契約 ・業者との委託契約 ・道路補修用資材を希望自治会へ配布 ・愛護作業の準備及び作業補助等 ・愛護作業参加者のための保険契約

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)		29年度計画(29年度に計画する主な活動)		
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	参加者実績	人	12,633	12,499	12,395	12,500
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	道路(河川)愛護作業の参加者	ア	参加者実績	人	12,633	12,499	12,395	12,500
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
安心して道路、河川愛護作業を行う	ア	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	58.0	60.0	71.9	59.0	
	イ	自然環境・景観の保全のために何らかの取り組みをしている市民の割合	%	49.7	66.4	65.3	70.0	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
食糧費:4千円、手数料:245千円、委託料:2,631千円、賃借料:1,753千円、原材料費:3,875千円、保険料:2,980千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	500	0	0	0
		一般財源	千円	8,022	11,038	11,488	11,532
	事業費計(A)	千円	8,522	11,038	11,488	11,532	
人件費	正規職員従事人数	人	10	10	7		
	延べ業務時間	時間	95	95	315		
	人件費計(B)	千円	369	372	1,250		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,891	11,410	12,738		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・道路河川愛護作業参加者数はほぼ横ばいだが、今後、過疎・高齢化により参加者の減少が危惧される。	・24年度から吉田町では委託料単価を見直し、委託料の改善を図った。 ・27年度から交付金の単価を見直し、改善を図った。	・過疎・高齢化により愛護作業の継続が困難になってきているとの意見が多く寄せられている。

事務事業名	道路愛護事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・ボランティアによる道路河川愛護作業のため、成果の向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	・地域住民が行っていた愛護作業を廃止・休止した場合、住民が行っていた作業を市が道路維持補修事業等で実施する必要がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		「道路愛護事業交付金」との統合
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		・安価な委託料、使用料であり削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		・住民が安心して作業を実施するための必要最小限の人件費である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		・市内の全自治会を対象としている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		・高齢化や過疎化等により作業実施が困難になりつつある自治会も見受けられるが、地域住民と市との協働で道路・河川の維持管理を継続できていると考えられる。
B 有効性		<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性		<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		・「道路愛護事業交付金」との統合																								
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																								